

《学校運営協議会(コミュニティ・スクール)の活動について》

桑村小学校応援団会議！

桑村小学校 NO.13 令和4年10月18日 文責 渡邊

第2回学校応援団会議が開催されました！

10月14日(金)に、「第2回桑村小学校応援団会議」(今後、応援団会議と記す)を行いました。

応援団員(学校運営協議会委員)の皆様方には、5時間目の授業を参観していただき、本校児童の学びの姿を見ていただきました。



【授業参観の様子①】



【授業参観の様子②】



【タブレットを使った家庭科授業】



【友達との関わりを大切にした授業】



【先生との関わりを大切にした授業】



【読書を推進する掲示】

その後、会場である音楽室に集まり、応援団会議を開催しました。



【松井団長の挨拶】



【小長谷教諭からの説明】



【応援団会議の様子】

学校長からは、これまでの教育活動の説明と協力に対してのお礼の言葉が述べられました。併せて、来年度の「桑村小学校創立150周年記念事業」についての構想が説明されました。

ねらいは、「令和5年度に150周年の節目を迎える。この150周年という節目を記念して、これまでの桑村小学校の歴史を振り返り、感謝するとともに、新たな歩みへの機運の醸成、

及び取組の推進を図ること」をねらいとすることが話され、これからの未来を生きていく子供たちに「夢に向かってチャレンジしていく」ことを大切に、子供を主役とした計画を立てていく旨が説明されました。

応援団員からは、150周年事業に向けて子供たちからキャラクターを募集し、機運を高めていってはどうかということが提案されました。とてもすばらしいアイデアであると思います。是非、子供たちに働きかけ取り組んでいきたいと考えます。

応援団長の松井さんからは、「この応援団会議では、皆さんから多くの意見をいただき、会議を有意義なものにしていきたい」という挨拶をいただきました。

協議事項では、前期の学校評価の分析と考察について、教務主任の小長谷教諭から以下の五点の取組を中心に説明しました。

- ★函南スタンダードについて
- ★子供たちの様子について
- ★学校の様子について
- ★教師の指導並びに学校の管理体制について
- ★つけたい資質・能力について

【学校応援団会議で出された応援団員の意見】

- ◆「函南スタンダードの『人の話を集中して聞く』について、児童（96.2ポイント）と保護者（80.5ポイント）とで認識に差がある。家庭ではリラックスしている状況にあるのでしっかり聞くことは難しいのではないか。」
- ◆「子供は、ゲーム等に熱中していると、話しかけても聞かない。」
- ◆「子供は学校のことを話してくれる。そのとき聞き返すようにすると、子供とのコミュニケーションが充実する。親が聞き流すと話してくれない。」
- ◆「大人が子供の話を聞いてあげることが大切。親として、子供の思いを受け止めてあげることがコミュニケーションにつながると思う。」
- ◆「大人が子供に対して関心をもつことが大切。仕事が忙しくてもコミュニケーションを大切にしたい。」
- ◆「函南スタンダードの『読書に親しむ』について、児童（83.5ポイント）と保護者（61.0ポイント）とで意識に差がある。学校で校長先生を中心に家庭と連携して取り組んでいるけれど難しい。私は読み聞かせで協力している。そのときの子供たちは目を輝かせて話を聴いている。家庭の様子まで知るとは難しい。」
- ◆「学校のタブレット端末が各家庭で使用されるようになると読書はますますしなくなることが心配されるがどうか。」
- ◆「電子図書を導入してはどうか？導入するに当たり資金は必要となるが読書の推進につながる可能性はあるのではないか。」
- ◆「『聞く力』を伸ばすことは大切。『マルベリー』で読み聞かせをしているが、今後視覚的なものを除いた活字だけの読み聞かせを計画したいと考えている。活字だけの読み聞かせでどれだけ子供たちがイメージを膨らませてくれるのかが楽しみである。」
- ◆「『学校が楽しい』について、児童の回答が97.5ポイントであった。これについて100ポイントを目指したい。すべての子供が学校が大好きであるという状況をみんなで創っていききたい。」
- ◆「運動会について、6年生を中心にどの子も楽しく活動できていてよかった。『借り物競走』で時間がかかっていたような気がする。地域対抗で『メデシング・ボール』を行うなど、地域の方々を巻き込んだ種目を取り入れてはどうか」
- ◆「親子で『玉入れ』もおもしろいと思う。協議の途中にダンスを組み込んで楽しくできた覚えがある。」
- ◆「桑村小学校の『コミュニティ・スクール』の取組を推進委員として広げている。沼津市の門池地区や金岡地区等から『コミュニティ・スクール』の在り方や実践を知りたいという要請があり、出向いていって話をしている。桑村小学校はとてもよい実践をしていると思う。今後もよきモデルとなるように取り組んでいきたい。」

応援団員の皆様方、貴重なご意見をありがとうございました。